



2010～2011年度
R I テーマ

Building Communities - Bridging Continents
地域を育み、大陸をつなぐ

国際ロータリー会長 レイ・クリングスミス (国籍・米国)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ ホテルニューツルタ 〒874-0800 別府市北浜1-14-15
TEL (0977) 22-1100 FAX 21-1019
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail: info@beppu4rc.jp

理事	木村きぬゑ	理事	津末美代子	役員	会長	木村きぬゑ	S A A	近藤 賢司
◇	亀井 孝	◇	大島由美子	◇	副会長	亀井 孝	直前会長	近藤 賢司
◇	河村 貴雄	◇	高宮 勝美	◇	幹事	後藤 隆		
◇	村津 忠久			◇	会計	河村 貴雄		

VOL. 23-28
2011年2月8日

第 1036 回 例会

会報委員長 衛藤 秀子

- ◆点 鐘 12:30
- ◆R S 別府中央R.C.の歌
- ◆唱 歌 雪山讃歌
- ◆ゲ ス ト チンゾリグト・ムンフツエツエグさん
(米山奨学生)
- ◆ビジター 萩尾憲司 (別府北R C)

◆出席報告 出席副委員長 津末美代子

本日 の 出 席	会 員 総 数	23 名
	出 席 者	14 名
	事前メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	1 名
出 席	欠 席 数	7 名
	出 席 率	63.64 %
前 々 回 の 訂 正	出 席 率	82.61 %
	事後メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	0 名
	修 正 出 席 率	86.96 %

連 続 - 回
通 算 742 回 100 %

会長の時間

会長 木村きぬゑ

今日は民謡を歌います。お題は貝殻節です。
♪♪何の因果で貝からこぎ習うた
カワイヤノーカワイヤノー
色は黒くなる身はやせる ヤサホーエヤ
ホーエヤエエ ヨイヤサノサッサ
ヤンサのエー ヨイヤサノサッサー♪♪
何故貝殻節なの？何でもありません。何の因果
でロータリーに入ったか？やはり人間関係だと
思っています、ご縁です。私は、今は亡き村橋病
院の院長先生に勧められ入会致しました。
何故村橋先生なの？理由は、今から40年前、体
調を壊して入院したのが村橋病院でした、それが
きっかけで入会のご縁を頂きました。
色が黒くなるほど働いて、出来る範囲の少しの
浄財をロータリーに託します、きっと何処かで誰
かの、何かのお役に立てているのだろう等、鼻歌

・メイクアップ

事前 村津 (別府北)
事後 木村 (別府東)
欠席 衛藤、梶田、河村、梶原、森園、
中尾、大島
出席免除 溝部

を歌いながら…。

今度地区大会があります。中央ロータリークラ
ブの会員も出来る限り多くの登録をお願いしま
す。そして参加してください。ここは一つ義理と
人情でよろしくお願ひします。アリア ヤンサの
エー ヨイヤサノサッサー♪♪でした。



幹事報告

幹事 後藤 隆

—世界理解月間—

1. 本日の卓話

「日本留学とモンゴル」

2. 本日のゲスト



チンゾリグト
ムンフツェツェグさん
(米山奨学生/
世話クラブ 別府北RC)

3. 第8回定例理事・役員会報告

報告事項

* 別府市内4RC会長・幹事会報告

平成23年1月13日(木) 18:30~於:照海

○合同事務局運営費後期クラブ負担額の件。

会員一人当たり45,000円(1月1日現在23名)

○2010—2011年度「地区大会」登録について市内他クラブの状況

別府RC(コホスト) = 全員登録

別府北RC・別府東RC = 会員へ多数登録の協力を要請

審議事項

1) 2010—2011年度「地区大会」登録の件。

* 多数登録の協力を要請

2) 2010年手続き要覧(ロータリアンの手引き)

購入の件*承認(R情報委員会より購入)

1冊8\$ (現在レート 1ドル84円) = 672円

3) 「第3回クラブ協議会」開催の件。*承認

例会日 平成23年2月22日(火)

12:30~例会 終了後~クラブ協議会

場所 ホテルニューツルタ

4) 2月・3月例会予定の確認

2月1日 「日本近代史」近藤賢司会員

8日 「日本留学とモンゴル」

チンゾリグト ムンフツェツェグさん

15日⇒19日(土)「大分第3分区合同例会・ならびにIM」

於ホテルサンバリーアネックス

15:00~5RC合同例会

16:00~大分第3分区IM

18:00~懇親会

22日 「第3回クラブ協議会」

3月1日 「会員卓話」森 宗明会員

8日 「会員卓話」村津久久会員

15日 「ゲスト卓話」

22日 「創立22周年記念例会」

29日 「定款休会」

4. 2011-2012年度RI第2720地区会長エレクト研
修セミナー(PETS)開催のご案内

日時 平成23年3月19日(土)13:00~17:00

20日(日)9:00~12:00

場所 熊本県立劇場 大会議室

(熊本市大江2-7-1)

親睦交流会 3月19日(土)18:30~20:00

場所 ホテル日航熊本

親睦交流会登録料 10,000円

出席義務者: 亀井 孝会長エレクト

5. 「八代南ロータリークラブ創立35周年記念式
典」のご案内

日時 平成23年4月3日(日)

記念講演14:00~15:30

記念式典/祝宴17:00~20:00

場所 記念講演: やつしろハーモニーホール・市民ホール

記念式典/祝宴 八代グランドホテル

記念講演 「すべての子どもが天才である」

福山保育園園長/太陽の子児童館理

事長 横峯吉文氏

登録料 会員10,000円/ご同伴7,000円

*詳細・登録ご希望の方は、幹事または事務局までお申し出ください。



6. お祝い（次週、合同例会のため、本日2週分
お祝い致します。）
会員誕生日 村津忠久会員（2月10日）
※記念品をお渡し致します。
結婚記念日 岐部光男会員（2月12日）
※ご自宅にお花が届きます。
配偶者誕生日 平野(教)なるみさん（2月15日）
※記念品をお渡し致します。
7. 例会変更のお知らせ
別府北RC 2月16日(水) } の例会は、合同例会
湯布院RC 2月16日(水) } 並びに大分県第3
別府東RC 2月17日(木) } 分区IMの為 2月
別府RC 2月18日(金) } 19日(土) 15:00~
ホテルサンバリーアネックスに日
時・場所変更
佐伯RC 2月16日(水) の例会は、創立記
念例会の為 同日18:30~ホテル
金水苑に時間変更
大分臨海RC 2月21日(月) の例会は、親睦夜
の例会の為 同日18:30~大分全
日空ホテルオアシスタワーに変更
大分中央RC 2月23日(水) の例会は、30周
年記念式典の為 2月20日(日)
13:00~大分東洋ホテルに日時・
場所変更
大分東RC 2月24日(木) の例会は、夜の例
会の為 同日18:30~丸福に時間
・場所変更
別府東RC 2月24日(木) の例会は、ニュー
釜山港RCとの友好クラブ再締結
調印式の為 同日18:30~ホテル
サンバリーアネックスに時間・場
所変更
8. 次週例会の予定
「合同例会及び大分第3分区IM」
日時 平成23年2月19日(土)
15:00~5RC合同例会
16:00~大分第3分区IM
18:00~懇親会
場所 ホテルサンバリーアネックス
※2月15日(火)の例会を変更して開催致し
ます。お間違えのない様ご注意ください。
9. 本日の回覧
①「大分県3分区合同例会並びにIM(Intercity
Meeting)」出・欠席
②「RI第2720地区2010-2011年度地区大会」出
・欠席
③「別府中央RC親睦ゴルフコンペ」出・欠席
④「第3回クラブ協議会」出・欠席
⑤「2011-2012年度版ロータリー手帳」希望購入
10. 本日の配布
①ロータリー探究「世界理解月間にあたって」
鳴海淳郎R情報委員長より
②ガバナー月信No.8
③週報No.1035



○木村会長

米山奨学生チンゾリグト・ムンフツェツェグさん、一年間がんばってね。又、モンゴルの話が聞けるので楽しみです。

○鳴海会員

本日は、米山奨学生ムンフツェツェグさんの当クラブへの来会と卓話を記念してスマイル致します。

○亀井会員

今日、北浜でスケッチをしている若者がいたので、話をした所、タワーの4階で個展をしているとの事で、見に行きました。京都の学生さんでなかなか良い絵でした。尚、4階には古着屋さんもおオープンしていました。みなさん、ぜひタワーに足を運んで見て下さい。

○近藤会員

今日は別府大学の同級生ではなくて同窓生のチンゾリグト・ムンフツェツェグさんが卓話をするということで大歓迎でスマイル。

○後藤会員

チンゾリグト・ムンフツェツェグさん、ようこそ別府中央RCへ。急に卓話をお願いしてごめんなさい。よろしくお願いします。

○村津会員

本日は、私の82歳の誕生祝い、ありがとうございました。

折角の誕生祝い例会ですが、来年4月の「一気登山25周年記念事業」企画の調査作業として、杉の井の光ホールに行かねばなりません。

35年前に、女性として世界初のエベレスト登頂に成功した田部井淳下さんの講演を聴くためです。

事前メーカーキャップは2月2日「北クラブ」で済ませました。ホームクラブ欠席をお詫びしてスマイル。

○森会員

1月は16日、2月は13日しか別府に居ません。県外に出稼ぎです。家内はさみしそうですが、気のせいでしょうか。

会長の時間の前に地区大会の欠席に×をしましたが、義理人情は外せない。

「日本留学とモンゴル」

チンゾリグト ムンフツェツェグ

新たな日が始まろうとする夜明けの頃、私は日本への旅をスタートさせました。家を出た私は、途中、車の中にいてもなかなか落ち着かない気持ちで国際空港へ向かいました。

うす暗い窓の外の景色の中に、首都のシルエットが遠ざかってゆきます。

空港には、家族が私を見送りに来ました。皆がそれぞれ、私にアドバイスや励ましを言い聞かせています。その時、空港放送が「間もなく東京成田国際空港への飛行機の出発時刻です。乗客の皆様、ご準備ください。」と告げるのが聞こえました。その瞬間の母の嗚咽をこらえた悲痛な顔を、今でもよく思い出します。私と離れることへの心の痛みが表れた母の顔。私も涙がこぼれるままにしていました。2004年の4月10日、春の雨の日のことでした。

こうして日本へやって来て、毎々が足早に過ぎ、今、別府大学の四年生です。

私はモンゴルでロシア語の学校に通っていました。両親は私をロシアに留学させたいと言う希望を持っていました。しかし、運命はそうさせなかったのです。私は六歳の時から日本の文化の一つとなる「SHOTOKAN」空手道をやっていました。とても大変だったけれども、両親の応援があったからこそ今までやれたと思います。私は大きくなるほど空手道にもっと興味を持つようになりました。川の水が流れるように、時間はどんどん過ぎてきました。

15歳のある日、モンゴルでNHKの番組を見ていて、日本語の発音がとてもきれいに聞こえて、初めて日本と言う国に興味を持つようになりました。





た。休日には、ウランバルタルの「日本センター」へよく行くようになりました。面白いアニメを見たり、木で作られたゲームをしたり、とても楽しい場所でした。そして日本の相撲も見ました。このような事から日本への関心がふくらみ、日本へ行くことは私の夢となりました。日本の科学技術、習慣、文化を頭の中で想像し、不思議な事や疑問も湧いて来ます。だから、実際に見て見たかったのです。

当時、モンゴルで子供たちを日本に留学させる制度が行われていました。高校一年生の時、私にもチャンスが訪れたのです。合格発表で私の名前が呼ばれた時は、信じられず、飛び上って、大喜びしました。やっと、夢を叶えて留学して来ました。日本の都市の景色を見て、まずその技術の高さに驚き、ぼかんとしてしまいました。しかしすぐに好奇心がうごめいてきました。

私が日本に着いたのは4月10日で、ちょうど桜が咲いていました。日本人にとっては桜はまさにナンバーワンの花。桜に対する思い入れは日本人独特のものだと言いますが、私もその美しさ感動し、今は日本の人々に共感できるような気がします。日本の春の優しい青空とほんやりとした空気も、私の肌に合わせてきました。

日本語は、最初はとても難しく感じ、先生方や日本人生徒とコミュニケーションがうまくいかないことから、寂しさを感じました。家族のことをよく思い出しましたが、そんな時、父の熱心なアドバイスを思い出し、感謝しながら心を強くしました。その中の一つは「人を歩みつつ」けさせるのは夢ではなく、意志であり、人の歩みを止めさせるのは、絶望ではなく諦めである。」と言うアドバイスでした。今では日本での生活に不自由を感じません。

好奇心の強い私にとって、休み中のホームステイは素晴らしい機会です。日本の人々の生活、地域による文化や伝統の違いなどを知る事ができます。そして京都の寺々や琵琶湖など、日本を代表する場所も訪ねる事ができました。

現在、モンゴルに電車があるけれども、新幹線はありません。日本に来て、日本の乗り物に関する最高の技術を知る事ができました。日本より国土の広いモンゴルにこの乗り物があつたらいいだろうな、とも思いました。私は初めて、日本と言う国でたくさんの日本人たちの中で生活をはじめ、勉強をしています。また、初めて親と離れて

生活をしています。とても寂しいけれど、私の一番大切な事は勉強する事なので一生懸命に頑張っています。親から離れて生活する事で、自分で考えて行動できるようになりました。

しかし、日本に来る前は今のような私ではありませんでした。モンゴルでは学校から帰った後は友達と遊んでばかりの毎日で、当然母はそんな私を怒ったりしていました。

私は幼い頃から、両親に囲まれてとても幸せな生活をしていました。

家族と食事をし、笑ったり、遊んだり、幸福を当たり前として暮らしてきた私は、人生というものを良く理解していなかったのです。しかし日本へ留学する機会を得て、私は家族や祖国の事を考えるようになりました。将来、祖国のために少しでも貢献できる人物になりたいです。

モンゴルでは「小さいごろからたくさん苦労をしておけば、将来立派な大人になれる。」と言う言葉があります。人生にはいろいろと嫌なことがあるでしょう。今の私には想像もつかないような苦しいことや嫌なことに将来ぶつかるかもしれません。ですから、私は今、嫌なことにぶつかっても逃げたりしないよう、自分を鍛えています。幸せを自分で掴むのです。

大きな夢と希望を持ち、日本の文化や習慣を学び、英語と日本をマスターしたいです。それには何か新しいことに挑戦しようと決心し、幼いごろから興味を持っていた外交官になりたいと言う目標を持ちました。このことは母のためでもあります。

母は幼いころ、事故にあつて、頭を強く打ち、その後一年間病院で治療をつづけた結果、傷もよくなり、体の調子も以前と比べてよくなりましたが、その事故のせいで母は幼いごろから持っていた夢を叶える事が出来ませんでした。きっととても悔しかったでしょう。

高校の時、野口英世の伝記映画を見ました。彼は幼いころは貧しかったのですが、大きくなって、立派な研究者となり、海外で長く研究をしていました。しかし母はかなり年を取っていましたので、死ぬ前に一回でも息子と逢いたかったのです。家族を離れてから十五年経った息子に、読み書きが全くできなかったのを、必死で文字を覚え、手紙を送ったりする母の心は涙ぐましかったです。また、野口英世の研究者として海外で、世の中の人のため、懸命に研究をつづける姿に強い憧れの気



持ちを持ちました。一つのことに努力することの大切さ、その中で経験の積むことの必要性など、この映画から学んだことは多かったです。

ある日、母が言いました。「青空を気ままに飛んでいくあの鳥を見てごらん。彼らと同じように、娘のあなたも親から離れて飛び立っていくのよ。だから、私が生きているうちに、早いうちに、自分の行く道を自分で決めなさい。」

この時から、私は親の恩の無限の深さを改めて感じました。母の清らかな母乳と子守唄のお陰で今の私がいます。それは確かな事です。そして私の人生には多くの未来があります。やるべきことはたくさんあります。限りある人生の最後の日まで、全力を尽くし、後悔のない人生にしたいです。そしてその人生の中で、できるだけ多くの時間、母と共に居て欲しいです。喉が渇くと、清らかな母乳を与えてくれるような母の優しさを、私は絶対忘れません。母は私の心の中で、永遠の存在です。ずっと、ずっと愛しています。

最後に、私が日本に来ていくつか不思議に思った事がありますので、それを皆さんにお話したいと思います。

まず一つ目は、なぜ日本人はあんなに元気で長生きするのかと言うことです。適した運動、バランスの良い食生活をしているのではないかと思います。町をウロウロ回って歩くと、60歳から80歳の人が普通に車を運転したり、自転車に乗ったりしています。とても素晴らしいと思いました。なぜならば、モンゴルではめったに目にしない風景ですから。例えば、60歳か70歳で車や自転車に乗っている人を見かけたら、皆びっくりするでしょう。実はモンゴルの平均寿命は65歳なのです。

二つ目は、なぜ日本人は働きすぎるのかと言うことです。頭の中にその日のスケジュールをきっちり組み込み、時間を守り、しっかり仕事をします。とても素晴らしい事だと思いますが、疲れていてもそれを口に出さず仕事をつづける事に疑問を感じます。疲れている時は、無理しなくてもいいのではないのでしょうか。

三つ目は、日本では時間を大切にします。二時に待ち合わせをすると、三十分前に来ます。モンゴルでは三十分も遅れて来ます。「TIME IS MANNER」がとても強い国だと思いました。

日本に留学することが出来て、本当に良かったと思います。日本で学んだことを生かして、いつもニコニコ、勉強はバリバリ、時間はチャカチャカの毎日を送りたいと思います。

日本とモンゴルの関係がもっと深まっていくことを私は願っています。

どうも、ありがとうございました。



会員コラム

亀井 孝

立春が過ぎました。今年は暦通り、昼間の日差しに春の訪れを感じる暖かさがあります。さて、最近では節分といえば恵方巻きが当たり前になってきました。巻き寿司には「福を巻き込む」、一本丸かじりには「縁を切らない」という意味があるそうです。恵方巻きの起源は諸説あり定かではないのですが、節分に食べる縁起物という商戦に打ってでたのは戦後、大阪の鯨組合だとか、海苔組合だとか。10年程前にコンビニが全国販売を展開し一気に広まったようです。そういえば昔は聞

いたこともなかった気がします。バレンタインのように便乗商法も盛んで、なんでもあり的なお祭り騒ぎになりつつあるのには少し食傷気味に感じます。しかし、子どもも育ちあがると大人ばかりでの豆まきは何やら気恥ずかしく、後片付けの煩わしさも後押しして、年毎に縮小傾向に。代わって、黙ってがぶりと食べるだけの縁起かつぎは重宝なもので、ついつい商戦に乗かってしまうのです。